富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

千葉県流山市産のオカダンゴムシの赤色個体

著者	布村 昇，黒沼 春子，八幡 昭彦
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	24
ページ	87
発行年	2001-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=754

富山市科学文化センター研究報告第24号，pp. 87-87；(2001)

短　報

千葉県流山市産の オカダンゴムシの赤色個体*

布村　　昇
富山市科学文化センター
〒939-8084 富山市西中野町 1－8－31

黒沼　春子
千葉県流山市南流山 6－29－1－1－310

八幡　明彦
東京都荒川区南千住 6-37-9-2601

A Record of a Red Specimen of the pill bug, *Armadillidium vulgare* from Nagareyama, Chiba, Central Japan

Noboru Nunomura
Toyama Science Museum
1-8-31, Nishinakano-machi, Toyama-shi,
939-8084, JAPAN

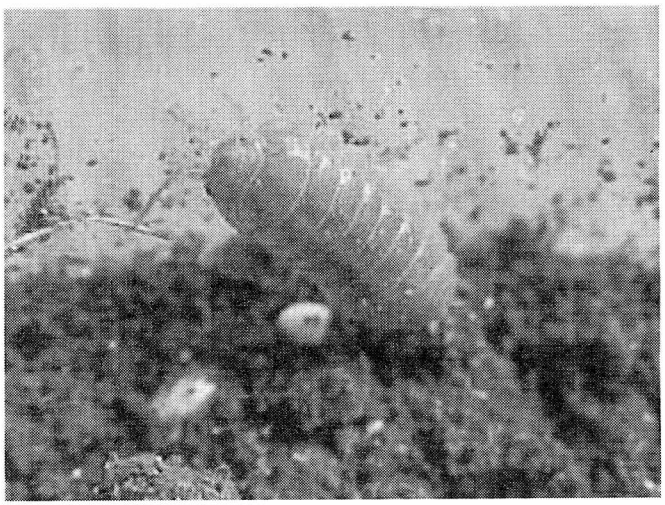
Haruko Kuronuma
6-29-1-1-310, Minaminagareyama, Chiba, JAPAN

Akihiko Yawata
6-37-9-2601, Minamisenju,
Arakawa, Tokyo, JAPAN

2000年６月４日，筆者の一人黒沼が千葉県流山市南流山六丁目の住宅地にある空き地で赤いダンゴムシを発見した。この標本を６月18日まで飼育していたが，死亡したので土に埋めた。それを聞いた八幡の注目するところとなり，掘り起こして６月20日にアルコール液漬標本とした。やがて，この標本が布村に送られ，同定のため解剖された。その時既に触角や胸部付属肢が全てないので手がかりは少なかったが，口器と交尾器,交尾補助器の形態からオカダンゴムシ，*Armadillidium vulgare* のオスであることが判明した。標本は解剖によりバラバラの状態であるが，富山市科学文化センターに保管される（TOYA Cr-12840）。今まで，赤色個体は初めてなので，記録しておく。

生息場所：流山市南流山六丁目の住宅地にある空き地。二面を舗装道路にはさまれ，他の二面はガソリンスタンドとアスファルト舗装した駐車場に面した，約100平方メートル程の面積。セイタカアワダチソウなどの雑草が枯れて，リター層をつくっている。土壌表層にオカダンゴムシ，ワラジムシ類，ヤケヤスデ類，コオロギ類，徘徊性クモ類が多くみられた。赤いオカダンゴムシは一頭だけであったが，普通の色彩のオカダンゴムシと混在してみられた。

飼育は，採集地の腐葉土をしいたプラスチックカップに，コンクリート片とチンゲンサイを入れたが捕食は確認できず。死亡時は体を半分丸めた状態であった。



＊富山市科学文化センター研究業績第255号